

3. 凍霜害対策

①間接防止法

- ***敷きワラ**：凍霜害が心配される時期が過ぎるまで、敷きワラは実施しない。
(敷きワラは凍霜害を助長する場合があります)
- ***草刈り**：草生栽培園は、草丈を短く維持する。
- ***かん水**：温かい日の日中に地上かん水を行い、地温を高めておく。

②防霜ファン

防霜ファン設置園は、2～3℃で作動開始し、6℃で停止するよう設定する。
降雪・降雨の際は、防霜ファンを稼働しない。

●燃焼法

3/17 発行の「果樹凍霜害対策特報」を参照ください。

●プラム凍霜害発生危険温度（30分間 福島県農業総合センター）

*目安としてご覧ください。

生 育 段 階		
色づいたつぼみ	開花中	小さい幼果
-5.0℃	-2.7℃	-1.1℃

4. 人工授粉、相互交配について

- ***時間帯**：10時～15時頃
- ***条件**：無風（または弱風）の暖かい日（昼間の気温が20℃以上）が望ましいが、好条件の日が少ないので、授粉はこまめに実施する。